

令和7年度第2回 苫小牧市食育推進協議会 議事録

開催日時 令和8年2月12日(木)18時30分～19時20分
開催場所 本庁舎5階 第2応接室

出席者

- ・協議会委員 8名
浅倉委員、荒物屋委員、岩城委員、遠藤委員、佐藤和希委員、
神開委員、仲見委員、野村委員
- ・事務局 12名
健康子ども部長、健康子ども部次長、健康支援課長、健康支援課主幹、
健康支援課長補佐、健康支援課副主幹、健康支援課主査4名、
健康支援課栄養士、健康支援課主任主事

次第

1 開会

(司会)

定刻になりましたので、ただ今から「令和7年度第2回苫小牧市食育推進協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。

本日、司会を務めます、健康支援課課長補佐の石澤と申します。よろしくお願いいたします。

2 健康子ども部長挨拶

(健康子ども部長)

本日はお忙しい中、令和7年度苫小牧市食育推進協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

さて、食育につきましては、現在、食育推進計画に基づいて、市は取組を進めているところではありますが、現行の計画は令和8年度で最終年度を迎えることとなります。従いまして令和9年度を始期といたします、新たな推進計画を策定する必要があるところでございます。国におきましては令和8年度からの、第5次食育推進基本計画の策定作業が進められているところではありますが、国や地方公共団体による取組とともに、学校、企業、それから地域の多様な関係者などと連携協働し、食育を国民運動として推進するという考えが国として示されているところでもあります。

この実現にあたりましては、ここにお集まりの委員の皆様のご意見も伺いながら前に進めていきたいというふうに考えております。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は国の推進基本計画を踏まえ、来年度から本市も改定作業の着手をします、第3次の食育推進計画について、基本的な考え方や改定作業の進め方についてお示しをさせていただきますので、ご協力をお願いしたいというふうに考えているところでございます。皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見、ご提案をお願い申し上げまして、開催の挨拶させていただきます。どうぞ、本日はよろしくお願い申し上げます。

3 議事

(司会)

ここで会議の成立についてご報告いたします。

苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項において、会議は委員の過半数が出席しなければ、開催できないことが規定されておりますが、本日は、委員13名中8名と、過半数の委員が出席いただいておりますので、本協議会が成立していることをご報告申し上げます。

また、この協議会の議事録を後日苫小牧市のホームページで公開いたしますので、よろしくをお願いします。

それでは、これからの議事進行は、岡元委員長が欠席のため、荒物屋副委員長にお願いいたします。

(副委員長)

ただいまご紹介いただきました、荒物屋でございます。本日は委員長に代わって議事進行させていただきますので、皆様よろしくお願いしたいと思います。

本日の協議会は、19時30分頃を目途に終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

早速ではございますが、次第に添って議事を進めてまいりたいと思います。

それでは、議事1の「第3次苫小牧市食育推進計画について」事務局から説明をお願いします。

(健康支援課主査)

私の方から第3次苫小牧市食育推進計画について説明させていただきます。資料1をご覧ください。

苫小牧市食育推進計画は食育基本法に基づく市町村食育推進計画として位置づけられているため、国の食育推進基本計画や北海道の食育推進計画を基本として作成するよう努める必要があります。ですので、まず国の方向性についてお伝えします。国は現在、令和8年度からの第5次食育推進基本計画の作成を進めているところです。

重点事項としまして、学校等での食や農に関する学びの充実、健全な食生活の実践に向けた大人の食育の推進、国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大の3点が挙げられております。背景には食に対する国民の価値観やライフサイクル等の多様化が進展してい

ること、物価高騰などの影響もあり、家庭や地域で健全な食生活を実践しにくい場面が増えていること、国民の食卓と生産現場の距離が遠くなっていることなどがあり、これは本市においても言えることだろうと考えております。

次に北海道の方向性についてです。北海道は現在、第5次食育推進計画の期間中です。主な推進施策として、健全な食生活の実践、食に関する知識の習得、食育の担い手育成と地域の推進基盤の強化の3点が挙げられております。

以上を踏まえまして、苫小牧市の方向性について考えました。市の第2次食育推進計画の基本理念であります、「生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかなからだをつくります。」というのは食育の基本的な考え方なので、3次計画にも継承したいと考えております。また、国や道の方針のもとに考えられるポイントとしまして、生活リズムの形成による朝食習慣の確立、各ライフステージにおける健康的なからだづくり（大人の食育）、郷土料理や食文化の推進、食育の関心を高めるための情報発信、地産地消の推進、食品ロスの削減をあげました。

これらの方向性をもとに本市の食育推進計画をさらに充実させていきたいと考えております。なお、3次計画の基本目標や取組等につきましては後ほどご説明します、市民アンケートの実施後、市の現状を分析した上で改めてお示ししたいと考えております。食育というテーマは健康支援課単独での取組が難しい場面もありますので、今回委員の皆様のご意見をいただきながらより良い計画にしていきたいと思っております。以上です。

（副委員長）

ありがとうございました。それでは、ただいま説明のあった議事1につきまして、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

（野村委員）

国の方針では、生産現場の実態を知らない子どもが増えているとか、生産現場の距離を縮める取組の拡大という案が出ていますが、苫小牧市として、食育の関心を高めるための情報発信というのはどういうことをしているのかなということがまず聞きたいのと、私的に考えると、国の方針というのは生産現場の実態を知らない子どもが増えているのであれば、野菜とか作っているところを見に行くとか、そういう活動もすべきではないかとか、昔はよく小学校では家庭菜園的に学校でも菜園活動をしていたと思うんですが、最近やられている学校もありますが、だんだん少なくなってきた。その菜園で作ったものを家庭科の時間に使って料理をするということは、子どもたちにとって自分たちが採った野菜をどういうふうに使って、どういうふうな形で消費するかということを学ぶのに必要じゃないかと思うんですが、だんだん今の教育現場の実態がちょっとずれてきているような気がして、一切そういう活動というのは見えていないんじゃないかと思うので、市として食育の関心を高める情報発信というのは、講座をして、色んな方が来て講演するのがそうなのか、どういう取組をしているのかというのをお聞きしたいのでお願いいたします。

(健康支援課栄養士)

食育の関心を高めるための情報発信としましては、今おっしゃっていただいたように、講座もごございます。出前講座という形で、例えば町内会などに出向いて、そこで特に健康に関するような分野が中心になりますけれども、そういった内容の話をすることもあります。ただ、生産現場との距離を近づけるといった意識も、今国でも示されていますが、本市としても、念頭には置いておりますことから、例えばですけれども、特に若い世代に向けた発信という気持ちがありましたので、インスタグラムなどの SNS と呼ばれるものを、活用しまして、例えば具体的な例を出すと、苫小牧の企業でありますホクトさんの、キノコを作っているところの様子を発信したりですとか、健康支援課としての取組ではない別の課の取組にはなってしまうかもしれませんが、学校給食の方でも給食に使われている食材が採れる様子を動画として発信したりしています。SNS、インスタグラムを見てらっしゃる市民の方々の年齢を見ることができるとは思いますが、20代から40代ぐらいの保護者世代と言われるような世代の方が、多く見てらっしゃるような印象も受けますし、そこで家庭で話をするような、話題作りになるようなこともできているんじゃないかなというふうには考えますが、ただ、確かに実際、子ども達の菜園活動は、おっしゃられるように、私も肌感ではありますけれども、減っているような現状もあるんだなというふうには考えておりますので、そちらも、今後の計画の中に何か積極的に盛り込むことができたらというふうな思いは持っております。

(野村委員)

インスタとかって見れる方は見えますよね。でも全然高齢者とかはなかなか見れないんですよね。今、一番大事なのは、やっぱり教育現場の子ども達にまずは食の大事さを教えるということは、自分たちで生産をしたり、作っている所に行きながら、「えーこんな作り方をしてるの」って子ども達が現場で発言したり、収穫したりすることが一番食に対する関心を高めることではないかと私は思っているものですから、その活動があまり見えないっていうのはどうなのかなと。国が一番先に言ってきていますが、子ども達の食に関してはこちらに載っていないような気がするものですから、その点がちょっと気になっております。

(健康こども部長)

今、野村委員がおっしゃった事について、そのとおりじゃないかなというふうに、思っています。これまで私どももこの食育推進計画に基づいて、取組を進めているところではあります。今行っている取組が十分であるというふうには思っておりません。今回この国の計画の中で、重点事項として示された中に対応していくために、これから第3次食育推進計画の骨格というものを今日お示しさせていただきました。幼稚園や保育園や未就学のところについては菜園があって、その食材を使って実際に育てて、給食するまで行っている園が、多くなっていますけれども、確かに、義務教育等になったら、なかなかカリキュラムも今大変でしょうから、昔できていたことがなかなかできていないという状況はあるかというふう

に私も認識をしています。ですから今回第3次計画を策定していく中で、この令和8年度の1年間をかけて、どのような中身にしていこうかということを考えていく中で、少しでもこの国が考えている重点事項、あるいは今北海道が取り組んでいる中身、そして、市が足りないという課題として捉えている部分、これらを今、野村委員からお話しもあった部分も少しでも取り入れる努力はしていかなきゃならないというふうに思っていますので、そこは私どもの健康こども部だけではなくて、全庁的なものでスクラムを組んでやっていかなきゃならないと考えていますので、少しでも今委員のおっしゃられたものを、取り入れることがどのようにしたらできるかいうところはこの1年間かけて検討して、1つでも具現化できるように努めてまいりたいと考えております。

(遠藤委員)

資料1ですけど、国や道、市の2次と3次が示されていますが、方向性と施策と基本目標ということですが、ポイントというのは今後計画を作る上でどの位置に入ってくるものですか。これが目標にはなるわけではないと思っておりますけれども、小項目とか大項目とか比較が分かりにくいのかなと。

(健康こども部長)

今の現行の第2次の食育推進計画では、この3つの基本目標を立てて行っています。この部分のどの部分を継承していくか、あるいはどの部分を新たにリニューアルしていくかとかこういうことになろうかと思っています。ただ基本理念については基本的には変えないでいきたいと思います。今回お示しした新計画のポイントとして今6点挙げています。これはどちらかという、一番下の方というか、実際に市民あるいは企業の方に対してですね、我々が具体的な施策として、こういうポイントをもとに進めていくという考え方を、今日はお示しをさせていただきました。これを実現するために、どういう目標を設定するかというところについては、現時点では具体的にこれというところをお示しできる段階にはまだございません。そこは我々内部の検討と、この推進協議会の中でもご意見をいただきながら、どちらかというボトムアップをしてこのポイントを実現するための基本目標を改めてお示しをして、基本理念に繋げていく、それでこれを実現するためにはどういう取組を進めていったら良いのかというところもまた段階的にお示しをしながら、ご意見をいただいて、完成に向かっていきたいという考え方になりますので、まずはこの新計画の中でこういう取組を行っていきたいなというところを今回はポイントとして、お示しをさせていただいたというふうにご理解をいただければと思います。

(浅倉委員)

生活リズムの形成による朝食習慣の確立と書いてありますけれども、なかなか子どもって、寝てすぐ学校に行くってことで、朝食を食べる子が少ないんじゃないかなと思います。孫がすぐ学校に行くというか、時間がないので、朝食はそんなに食べないで行くみたい

なんです。その朝食を食べさせるために、お昼はどのような献立をしているのか。前、行ってみたんですけども、随分食べないで残ってるっていうような状況だったんですけども、それはどうなのでしょう。

(健康支援課栄養士)

今おっしゃられたように、朝食を抜いていらっしゃる、大人もそうですし、子どももそうですし、朝食を食べない子が増えているというところが、市の課題の1つというふうに認識しています。その理由としまして、今おっしゃられたような、朝は時間がなくて食べない、あるいは時間がなくて食べないことが習慣になってしまっているから食べない。そういったことも第2次計画を策定した時のアンケートの結果からも見えておりましたので、まずそんな現状はあるかなというふうに考えており、市としては朝食の欠食をまず減らしたいという気持ちがあります。ただ、学校給食との関連性につきまして、今おっしゃられたように、給食の残食が多いというような話も聞こえておりますが、朝食とお昼ご飯との関係性についてはちょっと分からない部分が多く、私の方ではお答えするのが難しいので、持ち帰らせていただきたいです。

(副委員長)

ありがとうございます。課題として、他の部局との連携もあるでしょうから、その中で今のご意見を反映していただけるかと思えます。

それではこの議事1については了承ということによろしいでしょうか。

=了承の声あり=

それでは続きまして、議事2の「苫小牧市食育に関する市民アンケートについて」、事務局より説明をお願いします。

(健康支援課栄養士)

来年度実施予定の苫小牧食育に関する市民アンケートについてご説明させていただきます。まずは資料2-1をご覧ください。

このアンケートは苫小牧市食育推進計画の2次計画の評価及び3次計画策定に向けた実態調査としてアンケートを実施する予定です。

対象者は一般市民及び市内企業に従事する就労者や、市内保育園児等の保護者、学生です。配布数につきましては4,000枚を予定しています。実施期間は令和8年の5月ゴールデンウィーク明け頃の2週間を予定しています。アンケートの調査方法としまして、回答用紙を送付しますけれども、紙面での返送だけではなく、WEBでの回答も受け付けたいと考えております。以上のアンケート方法につきましては2次計画策定時の調査とほぼ同様という形を取らせていただいております。

次に内容についてご説明させていただきますので、資料2-2をご覧ください。

アンケートの設問は全部で34問ありまして、ほぼ選択式ですので、回答にかかる時間は

10 分以内を想定しています。資料の右上にありますように、新規の設問には★印、2次計画の評価のために必要な設問には●印をつけておりますので、そちらを踏まえてご覧いただければと思います。

まず全体を通しまして、第2次計画の評価として、朝食や栄養バランス、食品ロスなど2次計画の目標に関わる項目はどの程度達成できたのかを数値で確認いたします。

次に第3次計画策定のための実態調査としましては、年代や世帯などで課題がどこに偏っているのか、また、できない理由や必要な支援などを把握し、施策と指標を設計したいというふうに考えております。アンケートは全部で8ブロックに分かれておりまして、最初の基本属性というところで年代や就労状況などを聞き取ります。

次に食事の時間・共食では共食の頻度と食べ方について聞き取ります。共食については同居家族がいる人のみに限定しております。食べ方の状況については、よく噛むですとか、ながら食べを控えるですとか、そういった課題を見据えて、市民向けのメッセージ作りの材料にしていきたいというふうに考えています。質問10番から始まる生活リズム・朝食につきましては、先ほどもちょっとお話しさせていただきましたが、朝食の欠食率が高いという部分が市の課題の1つであるというふうに考えておりますので、その生活リズムと朝食の関連性、あるいは朝食を食べない理由なんかを少々詳しく聞き取りたいというふうに考えております。

次のページの設問14番では一歩進んで朝食の内容についても聞きたいというふうに考えております。質問15番から始まる食事内容は、主食・主菜・副菜を摂る頻度ですとか、野菜を食べている量の自己評価や、野菜をあまり食べていないという方に対しては、その理由などを押さえ、栄養面での実態や支援のニーズについて把握したいと考えております。また、市の健康課題の1つに腎疾患がありますことから、そこに関連してきそうな減塩や糖分についての設問を追加したいと考えまして、設問の19番と22番のところ、飲料についての設問を追加いたしました。質問の23、24番については、食事マナーの部分です、食の豊かさですとか、その感謝の気持ちについて指標の1つとして使いたいと思いましたが、こちらを聞き取りたいと思います。

質問25番からは地産地消と食品ロス、環境の項目になっておりますが、特に食品ロスの辺りは意識して実践している方にはどのようなことに取り組んでいるか、という部分も少し踏み込んで聞き取りたいというふうに考えております。質問29番が体格の状況ということで、こちらの設問も前回も取っている同じ設問なんですけれども、身長と体重を聞き取って、BMIで体格の状況を把握するのに使用します。

最後の食育の認知・関心の部分なんですけれども、まず食育を知っているかどうか、関心があるかという項目から始まりまして、市で行っている食育関連の取組を知っているかどうか、あるいは参加したことがあるかどうかといった市民の実態について把握いたします。最後に食育に関する自由記載で、どういった取組を市に期待しているかというところを聞き取りたいというふうに考えております。これで全34問になります。

以上でアンケートの説明を終わります。

(副委員長)

ありがとうございました。それでは、ただいま説明のあった議事2につきまして、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

(岩城委員)

食事内容、バランス・野菜の項目がありますけれど、こちらの中でもしできるのであれば、外食の内容ですとか、テイクアウト、中食の内容とか回数といったものについても聞いてみることができないかなと思いました。その理由なんですけれども、資料1で健全な食生活の実践に向けた大人の食育の推進、苫小牧市でも各ライフステージにおける健康的な体づくり(大人の食育)ということを書いているんですけれども、大人の食育を考える上で、やっぱりその現状、今の大人が一体何を食べているのか、特にアンケート対象の就労者、多分共稼ぎ世帯とか、子育て中の保護者とか、そういうちょっと忙しい方たちにも聞いてみるような、そういうことも少し把握した上で、大人の食育ということは今後考えていくのに内容を掴んだ上で行う方がより具体的にできるのではないかなと思ったので提案します。

昨今、物価高がありまして、結局一から色んな食材を揃えて作るのがとても高上りになっちゃうということで、安易にちょっと輸入の物であったりですとか、冷凍食品、加工食品、インスタント食品、そういうものをすごく利用する家庭が増えているということをよく聞きます。結局そういったもので普段の食事を、もし大人が済ませてしまっていたら、子どもへの究極の食育の担い手っていうのはやっぱり保護者であったり、大人だったりするので、まずその大人の食事がどうなのかっていうところを掴みたいので、そういったことを教えてもらいたいと思います。

(健康支援課長)

まさにですね本日の会議自体が、我々が考えてきたアンケートについて、皆様のご意見をいただきたいというところでございますので、まずいただいたご意見については前向きに検討させていただきたいというふうに思っております。ご質問にもございましたように、昨今の物価高についてですね、確かに材料を一から揃えて食事を作るところになりますと、どうしても高上がりになる傾向があるので、インスタントのものに頼ってしまうというような傾向も、近年の傾向としてもしかすると前回のアンケートに比べて顕著にそういうものが表れる可能性もございますので、いただいたご意見を参考にさせていただきたいと思っております。

(副委員長)

その他に御質問がなければ、議事2の「苫小牧市食育に関する市民アンケートについて」、了承するというところでよろしいでしょうか。

=了承の声あり=

それでは事務局はこの案をもとに進めてください。

続きまして、議事3の「今後の策定スケジュールについて」について、事務局から説明をお願いします。

(健康支援課主任主事)

それでは、今後のスケジュールについてご説明いたします。お手元の資料3をご覧ください。この資料では、本日以降、令和8年度の計画策定作業と会議開催日程について、現段階での予定をお示ししております。

まず、右側に四角で囲っている部分が会議の予定になります。会議のうち、庁内検討会議は、市役所内の関係部署が委員となっている内部の会議になります。今後皆様にご参加いただく会議としては食育推進協議会と記載している箇所になります。この後、5月に予定している協議会につきましては、昨年開催の第1回会議と同様に、第2次計画の令和7年度実施結果及び令和8年度の実施計画についての審議を予定しております。同じく5月に、本日の議事にありました市民アンケートを実施予定です。

6月以降につきましては、アンケートの集計結果をもとに、第3次計画の基本目標及び指標について検討と、素案の作成を行いまして、8月下旬及び11月上旬ころ実施予定の協議会にてこちらの審議を行ってまいります。第3次計画素案をご審議いただいた後は、12月に開催される市議会への報告及びパブリックコメントを実施し、令和9年1月に開催予定の協議会にて、パブリックコメントの結果を踏まえた第3次計画の最終案をお示しする予定となっております。

今後のスケジュールについての説明は、以上でございます。

(副委員長)

ただいま説明のあった議事3について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

それでは、最後にその他として、議事全体を通して、委員の皆様からご質問やご意見等があれば挙手をお願いいたします。

(健康支援課長)

本日の議事において、アンケートについてご意見いただいております。私どもの方で一度整理をさせていただいた上で、最終案というものを委員の皆様の方にご確認を、書面という形になるかと思っておりますけれども、させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(副委員長)

食育のことにしましては難しい時代になってきているなというふうに思います。事務局、それから今回の協議会の委員の皆様で協力していいものを作り上げていきたいと思っておりますし、

いただきたいと思っというふう思っています。以上で本日予定していた全ての議事が終了いたしました。本日は皆さまにご協力いただき誠にありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

(司会)

荒物屋副委員長ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして「令和7年度第2回苫小牧市食育推進協議会」を閉会いたします。次回は5月下旬ごろの開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。